
QA9 震災発生から数年が経ちました。今、外部被ばく線量を知って何の役に立つのですか。

基本調査は、最も空間線量率の高かった東京電力福島第一原子力発電所事故発生直後から4か月間の外部被ばく線量を知るための唯一の方法です。ご自身の外部被ばく線量を把握できることに加えて、さらにその情報を福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターで共有することにより、これから10年後、20年後、30年後に至る長期にわたり皆様の健康を見守る基礎データとなります。

また、現在（平成27年2月）基本調査の結果を基に震災直後の内部被ばく線量を推計できるかどうかを検討する研究も始まっています。

統一的な基礎資料の関連項目

下巻 第10章 160 ページ「基本調査 結果」

出典：福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターウェブサイトより作成

出典の公開日：平成27年3月31日

本資料への収録日：平成27年3月31日